

ロールプレイング

登場人物

マルオ 24歳・男性 知的障害者

ハナコ 20歳 マルオの彼女？ (実はセールスマン)

世話人 マルオのグループホームで働く女性

マルオはグループホームに住む24歳の男性。知的障害のある彼に声をかけたのは、街でアンケートを行っていたハナコ。自分が働く店で二人きりで話をしたいと言われ、事務所の二室に連れて行かれました。恋人気分のマルオですが...

ハナコのお店

ハナコ (アンケート用紙を見ながら) マルオ君ってなんだ。いい名前だね。

マルオ うん。

ハナコ ねえ、マルオ君って、彼女いる？

マルオ いない。

ハナコ えーつ、うそー、マルオ君の彼女になる人って、うらやましいなあ。

マルオ (まんざらでもない顔)

ハナコ 今日ね、私が働いているお店で指輪を安く売っているの。マルオ君の彼女になる人にプレゼントしたらどうかな、って思っ

マルオ うん。

ハナコ 私なら、この指輪をせうつたり、すぐくっつけよう☆

マルオ うん。

その2ヶ月後 グループホーム

マルオ ただいま。

世話人 お帰り。マルオくん今日は何してたの？

マルオ ハナちゃんに会ってた。

世話人 ハナちゃん？だれ？

マルオ 彼女だよ。

世話人 そう。マルオ君、彼女が出来たんだあ。どこで知り合った人？

マルオ 街で声をかけられた。ハナちゃんは運命って言った。

世話人 へえ、いい人なの？

マルオ うん。ハナちゃんはかわいく、僕のことを優しくって言ってくれるんだ。

ハナコ いつもは100万円以上するんだけど、今日だけ特別50万円。一生大切に使えるから、損はないと思うな。

マルオ いいよ。

ハナコ わーっ。うれしい！マルオ君に勇気を出して声をかけてみて、よかったーじゃあ、ここにサインして。

マルオ うん、わかった。

ハナコ マルオ君は運命の人のような気がする。また、わたしから電話してもいい？

マルオ いいよ。

ハナコ マルオ君って、優しいね。じゃあ、また今度ね。

マルオ バイバイ。

世話人 指輪？指輪なんてしてないじゃない。

マルオ あっ！もしかして、彼女に指輪を買ってあげて、お金がなくなったの？

マルオ そうなのかなあ...

世話人 そうかもしれないよ。ちやうど、貯金通帳を見せてごらん？

貯金通帳を世話人に渡すマルオ

世話人 やっぱり...。ほとんど残ってない。だまされて

マルオ いるのかもしれないよ。ふん。そつなんだ。



ロールプレイングなどを活用したトラブル対策

主に知的障害者を対象に、ロールプレイングを中心とした消費者被害防止の本人支援プログラムが全国各地で実施されはじめています。

プログラムの進め方は様々ですが、ワークショップで被害を疑似体験する形式がよく行われています。例えば支援者によるロールプレイングの実演によって問題認識を共有した後、本人参加のロールプレイングを行い、被害の予防や解決のためにどうすればよいのか考えさせるなどの形式があります。

ワークショップは一度参加したからといって、確実に問題解決能力を身に付けることができるわけではありません。重要なのは、参加している本人同士お互いに語り合い、認識を共有し、相談できる窓口を確認することです。また、障害者の被害を潜在化させないためには、消費者トラブルは地域生活において、誰もが

経験し、乗り越えていく生活課題であり、相談してよいのだということを確認することが重要です。

特に判断に支援が必要な障害者の場合には、上記のロールプレイング等を参考に本人支援プログラムを実施し、地域のなかで消費者トラブルについて語り合う場を幅広く設定するとよいでしょう。地域にこのようなプログラムがない場合は、各機関が連携し、プログラムの作成を検討しましょう。

制作 財団法人消費者教育支援センター
 著作 消費者庁
 制作協力 東 珠実 福山女学園大学 現代マネジメント学部 教授
 木間 昭子 国民生活センター 相談調査部 調査室長
 金谷内 徹 筑波大学 大学院教育研究科 2年
 名川 勝 筑波大学 大学院 人間総合科学研究科 講師
 堀江 まゆみ 白梅学園短期大学 教授
 渡邊 一郎 足立区中部福祉事務所
 財団法人全国精神障害者家族会連合会・財団法人全日本聾唖連盟・社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会・社会福祉法人日本身体障害者団体連合会・社会福祉法人日本盲人会連合・社団法人全国消費生活相談員協会
 事務局 柿野 成美 (財)消費者教育支援センター 主任研究員
 中川 壮一 (財)消費者教育支援センター 主任研究員
 イラストレーション/みつき